

いらっしやいませ通信

教科担任制について考える。

今年の三月、教科担任制を小学校への導入を文部科学省が決めたと、という新聞報道が有りました。その方針を受けて、北九州市でも教科専科や教科担任を進めています。

これからの子どもたちの学びにとってという視点から、小学校でも専門性が求められるようになっていきます。

また、どの職場でも働く人不足です。教員も例外ではありません。教員不足も深刻な問題です。

この外にも、教員の負担軽減や子どもと向き合う時間の確保、授業の質向上等の課題も有ります。

下段以下に、指導法について、概略を示しています。現在はクラス担任+専科制で三小は進めています。(高学年)

クラス担任

○伝統的に小学校で行なわれてきた指導法です。ただ高学年では、週に30時間の授業があり、教員への負担が大きいと指摘されています。

○新しく外国語やプログラミングの指導が始まり、専門性が教員に求められています。

クラス担任制

国語 算数 社会 理科 生活 図工
 道徳 音楽 家庭 体育 外国語
 学級活動 総合



○一人の担任が、一日中子どもたちと関わる中で、まず、子どもと担任の信頼関係をつくります。信頼関係をもとに、学習の指導と生活の指導を行ないながら、学校生活に適應できるようにしていきます。

○自分のクラスの子どもたちに、力をつけたいという教員の根源的な思いに合致した指導法です。

クラス担任+専科制

○現在、多くの小学校で行なわれている指導法です。もう40年以上昔になります。私が小学生の頃、五・六年生の図工と家庭科は担任ではない専科の先生に教えていただいていた。

クラス担任+専科制



○クラス数にかかわらず、専科の先生がいれば実施できる指導法です。中学年でも、低学年でも状況によって可能だと考えます。それは、多くの幼稚園等で体操教室の先生が来られて、運動に親しむ活動をされているのに似てると考えられます。良いのではないのでしょうか。

教科担任制

○中学校以上の学校で行なわれてきた指導法です。専門性が高まり、専門の教員による指導が行なわれています。

○3クラス以上あると、教材の準備が効率的に行なうことができず、教員一人あたりの指導時間を減らすことができます。

教科担任制



○沢山の教員が関わることで、児童理解が深まります。

○3つのモデル図を見ていただいで分かるように、沢山の教員が必要とされます。

○生徒指導を行う教員が必要となります。